

授業概要

第4回目までは、主として初等教育段階における児童理解及び進路指導の意義や原理を講義を通して理解する。その基礎的知識をもって、第5回から第9回までは、実際の生徒指導及び進路指導の進め方を習得する。さらに、第10回から第12回までは、今日的な個別の課題を抱える児童への指導の進め方を習得する。第13回と第14回はキャリア教育に資する知識を修得する。第15回は、今後の生徒・進路指導の課題を検討することで、全授業を振り返る作業を行う。

授業計画

第1回	授業ガイダンス・生徒指導及び進路指導の意義と原理
第2回	教育課程における生徒指導・進路指導・キャリア教育の位置づけ
第3回	学校・地域・家庭の連携からみる生徒指導・進路指導・キャリア教育
第4回	チームとしての学校が目指す生徒指導・進路指導と、他専門職との連携
第5回	全体への指導と個別指導の方法とその原理
第6回	学級・学年・学校における生徒指導の進め方・特別活動との関連を理解する
第7回	生活習慣の確立と、規範意識の醸成・道徳教育との関連を理解する
第8回	自己肯定感の形成と自己評価
第9回	集団の中における社会化機能と個性化
第10回	学校教育法における懲戒と体罰・校則
第11回	「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の考察①—いじめ・長期欠席
第12回	「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の考察②—自殺・暴力行為
第13回	キャリア教育・職業教育の理解 —小学生の自己像と将来像から指導方法を考察する
第14回	生き方・働き方の多様化とライフステージにおけるキャリアパスの形成
第15回	今後の生徒指導・進路指導の課題
第16回	定期試験

到達目標

生徒指導は、一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。キャリア教育は、学校で学ぶことと社会との接続を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的としている。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導及び進路指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。

履修上の注意

第1回のガイダンス授業の際に、授業方法・評価方法・予習・復習について詳細に説明する。成績評価に関わる内容であるため必ず出席すること。なお、第1回目の授業に出席できない特別な理由がある場合（あった場合）には申し出て、配布資料を必ず受け取ること。

予習・復習

予習：授業の最後に示された次回の内容について、生徒指導提要・学習指導要領・関連する文献等を読んでおくこと。

復習：毎回の授業で出題された課題を確認し、理解ができていない場合には、プリントに示されている参考文献等をもう一度確認しておくこと。

評価方法

受講態度 10%・提出物の内容 10%・学期末のテスト 80%を基本とし、総合的な観点から評価を行う。教職に関する科目のため、成績評価は厳しい態度で行う。なお、履修者の状況によっては中間テストを行う場合がある。評価方法の詳細は、第1回のガイダンス授業で説明する。

テキスト

参考文献（令和4年度中に改訂された『生徒指導提要』が発刊された場合、それを参考文献とする）

- ・教科書名『生徒指導提要』・著者名：文部科学省
- ・出版社名：教育図書
- ・出版年（ISBN）：2011年（4877302743）